

令和4年度 課長方針 検証

部課	教育部 教育総務課	課長	田中 昌継
----	-----------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の円滑な運営に努める。 ・貸付金の適正な管理に努める。 ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、事務事業の点検評価を実施する。 ・学校施設の環境改善と機能の維持向上を図る。 ・常に市民の視点に立ちものごとを考え、行動し、市民から信頼される職員となるよう自己研鑽に努める。 ・業務遂行に当たっては、情報を共有し、相互に協力し合い、課題は職員全員で解決する。 ・蕨市を愛し、市民とともによりよいまちをつくらうとする気持ちを大事にする。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
入園・入学資金の貸し付け	審査委員会において資格等を審査し、学校種別ごとに条例で定める額の範囲で貸し付けを行うとともに、返還金を管理する。	貸し付けのみならず、相談業務も充実を図り、経済的な理由により支払いが困難な保護者への支援を多面的に進める。また、返還金の適正な管理に努め、収納率の向上を目指す。	○	より多くの人に制度について知っていただくために、市ホームページや広報紙、教育総務課作成のポスター・チラシ、行政広報番組などを通じて、周知を図った。返還については、口座振替の勧奨を行うとともに、滞納対策として、電話相談及び専用封筒での督促などをおとして、滞納債権の削減に努めた。なお、臨宅訪問については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和4年度は実施しなかった。
奨学金の貸与	選考委員会において資格等を審査し、学校種別ごとに条例で定める額を貸与するとともに、返還金を管理する。	貸与のみならず、相談業務も充実を図り、経済的な理由により修学が困難な者への支援を多面的に進める。また、返還金の適正な管理に努め、収納率の向上を目指す。	○	より多くの人に制度について知っていただくために、市ホームページや広報紙、教育総務課作成のポスター・チラシ、行政広報番組などを通じて、周知を図った。返還については、口座振替の勧奨を行うとともに、滞納対策として、電話相談及び専用封筒での督促などをおとして、滞納債権の削減に努めた。なお、臨宅訪問については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和4年度は実施しなかった。

事務事業の点検評価	事務事業の点検評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表する。	教育委員会の事務事業の管理及び執行の状況を自ら点検評価するとともに外部評価を受け、その結果を今後の施策に生かす。	◎	教育委員会が所管する事業のうち、今年度は19事業について点検評価を実施した。外部評価での意見や助言などを踏まえ、担当部署で改善に取り組んだ。
学校施設改修事業	学校施設的环境改善と機能の維持向上を図るための改修工事を実施する。	体育館エアコン設置工事とトイレ改修工事及び、その他の施設改修工事について、適切に実施するとともに、今後の改修計画についても検討を進める。	◎	全ての事業を、予定通り年度内に完了することができた。
学校施設の適切な維持管理	学校において児童・生徒が安全で快適に過ごせるよう、学校施設の適切な維持管理を実施する。	各学校と協力のうえ、施設の日常的な点検や、非構造部材などの定期的な点検を行い、適切な修繕等を実施する。	○	定期的な点検の実施および適切な修繕の実施に努め、施設の安全な維持管理を実施することができた。
学校施設の改修計画等に関する検討	蕨市個別施設計画を踏まえ、今後の施設改修計画及び学校の適正規模・適正配置に関する検討を進める。	「蕨市公共施設等総合管理計画」に基づく、「蕨市個別施設計画」の内容および、「蕨市学校適正規模適正配置審議会の設置を求める決議」の議決を踏まえ、今後の改修計画などを調査・研究する。	○	「個別施設計画」の内容を踏まえ、予算化に向けた検討を進めることができた。今後の改修計画については、先進事例や県作成資料などについて、調査・研究を進めることができた。

令和4年度 課長方針 検証

部課	教育部 学校教育課	課長	小山 晃弘
----	-----------	----	-------

課の運営方針	
【業務】	<p>学務係:児童生徒の就学及び扶助、幼稚園無償化、教職員人事等。</p> <p>指導係:学校教育の指導助言と教職員研修、特別支援教育等に関すること。</p> <p>学校保健係:児童生徒、教職員の健康管理及び学校環境、安全に関すること。 校医、学校保健会、災害給付等に関すること。</p> <p>(創意)なぜそれをやるのか根拠を問う(なぜの繰り返し3回)。創意の基盤である面白さを追求する。 前年度からのマイナーチェンジを常に意識する。</p> <p>(笑顔)市民や来庁者の立場に立った懇切丁寧な接遇をする。仕事のスモールステップ化で自ら達成感を生み出す。</p> <p>(協働)市民・子供たちのために他部局課・小中学校への連携を推進する。特に小・中学校には支援と連携で信頼を得る。互いの仕事の長所を指摘・共有し合う。</p> <p>(効率)仕事内容及びその処理にはプライオリティをつける。</p> <p>(専門性)常に学び、自らを問い続け、業務の専門性を高める。研修の機会があれば積極的に参加する。</p>

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
ICT活用推進事業	GIGAスクール構想による、学校ICT環境整備に伴い、児童・生徒のICT活用能力の向上を図る。特に教職員の計画的な研修を立案・運営する。	日常的に大型テレビの活用やタブレット端末を効果的に活用する教育活動を推進する。	◎	年度当初から、各学校において、Google及びスクールタクトの積極的な活用を実施し、授業等において有効活用することができた。また、ICT支援員を活用し、校内研修では指導者として、教職員のスキルアップを行った。

教育センター事業	計画的にICT活用研修を実施し、教員のICTによる指導力向上を図る。併せて、教育相談や日本語教育支援体制を充実させるとともに、教職員の研修や学校コーディネートを行う。特に、働き方改革の観点から、オンライン研修を積極的に推進する。	・教員のICTを活用した指導力向上のため、ICT活用ワーキンググループによる授業改善案や諸提案ができるよう、機能強化を図る。(各学校では随時研修実施)また、教職員ポータルサイトの更なる内容の充実を図る。 ・教育相談や日本語特別支援教育や教職員の研修、学校コーディネートを行い、教育センターの充実を図る。	◎ ・ICT活用に向けた教員の研修について、各学校内に必要に応じて実施した。また、教職員ポータルサイトには、ICT機器取扱いの基礎の解説やICT機器を有効活用できた授業実践例を掲載し、常に閲覧可能にした。併せて、ICT活用ワーキンググループの研修を年間4回、計画的に実施し、子供たちに身につけさせたい情報活用能力を育成するため、学年ごとの一覧表にまとめた「わらびモデル」を作成した。今後は「わらびモデル」を共通指導事項として全校で取り組んでいく。 ・教育相談については、例年どおり適切に対応した。日本語特別支援教育についても、日常会話の他、日本の学校きまりや日本文化等、多岐にわたり学校生活が円滑に送ることができるよう指導・支援できた。
外国語教育推進事業	・全小中学校に配置した外国語指導助手を活用して、一層の外国語教育の推進をする。 ・GTEC活用を推進し、生徒の英語力の向上を図る。	・外国語指導助手を全小・中学校に1名ずつ配置し、外国語活用能力の向上を図る。 ・中学校2・3年生を対象としたGTECを実施するとともに、昨年度の分析を踏まえ、更なる授業の充実を図る。併せて、引き続き教員研修を実施する。	◎ 外国語指導助手を全小・中学校に1名ずつ配置し、担任や教員がT1となり、外国語指導助手を有効活用する授業が確立してきた。また、GTECに係る教員研修を年2回実施し、英語指導の改善を図るようにした。
少人数学級推進事業	市臨時教員の採用試験を実施し、優秀な教員を確保する。	小学校4・5・6学年において35人程度学級を実施し、きめ細かな教育指導を実施する。	◎ 3名の市費教員を採用し、当該学年の人数を35人程度にできたことにより、授業中等で1人に接する指導時間が増え、きめ細かな指導につながった。
働き方改革推進事業	各校1名のスクール・サポート・スタッフの配置を継続し、教員でなくてもできる仕事を遂行することで、教員の働き方改革に資する。	教員の在校時間の縮減や児童・生徒と向き合う時間、授業のための準備時間等を確保する。	◎ 教員業務支援員を各校1名配置したことにより、各教員が依頼した「印刷」「掲示物の掲示」「給食配膳の手伝い」「文書点検」「校務支援システムへの入力補助」「電話対応」等を実施し、教職員の負担軽減となった。

<p>「蕨市いじめ防止基本方針」推進事業</p>	<p>「いじめ問題対策連絡協議会」を開催し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に向けた組織的な取り組みをする。</p>	<p>「蕨市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止、早期発見の取組を推進する。特に、児童生徒のICT活用に係るいじめ防止のためのチェック体制を全小・中学校で整える。 併せて、蕨市いじめ未然防止ワーキンググループによる、「蕨市いじめ未然防止プログラム」及び「生活アンケートを用いた実態調査」の検証・改善を推進するとともに、学習指導案・研究授業に係る助言を行う。</p>	<p>◎</p>	<p>蕨市いじめ未然防止ワーキンググループの活動については、予定どおり3回実施した。各ブロック毎の授業研究・研究協議に関しては全体で8回実施し、授業内容の充実を図ることができた。</p>
<p>幼児教育無償化事業</p>	<p>3～5歳幼稚園児の保護者への利用料の無償化を行う。</p>	<p>3～5歳幼稚園児の保護者への利用料の無償化により、保護者の負担軽減を図る。 併せて、ひかり幼稚園に係る国の施策に対し、適切に対応する。</p>	<p>◎</p>	<p>幼保無償化に係る事務処理を滞りなく実施できた。</p>
<p>コミュニティ・スクール事業</p>	<p>東小・塚越小・東中の3校をモデル地区とし、PTAや学校応援団などの代表者による、コミュニティ・スクールを推進する。</p>	<p>地域住民等が、学校運営に参画し、信頼関係を深め、小中連携による児童生徒の健全育成を図る。 特に、3校の人材バンク登録及び活用の推進を図る。 また、第二中学校区の令和5年度でのコミュニティ・スクール立ち上げの準備を進める。</p>	<p>△</p>	<p>昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5回実施の予定であった会議を3回に縮小し実施した。小中連携の観点で、活発な話し合いが行われた。人材バンクの登録作業は、一名のみの登録であった。二中校区の立ち上げについては、関係する学校・PTAとの話し合いを重ね、令和5年度より、西小・北小・第二中の3校で実施予定である。今後は、残りの4校について、検討を進める。</p>
<p>事務の共同実施事業</p>	<p>蕨市立小・中学校の学校経営のより一層の充実を図るとともに、学校事務職員の効率的・効果的な事務処理及び資質向上を図るため、事務の共同実施を推進する。</p>	<p>年間20回程度の事務の共同実施を推進し、昨年度の反省を踏まえ、学校事務職員の資質向上及び業務の正確性の向上を図る。</p>	<p>◎</p>	<p>全体会の旅費の相互確認に加え、今年度は同一中学校区による共同実施を別途開催し、当該校区学校の通勤手当・扶養手当・住居手当に係る確認を実施できた。また、事務職経験の浅い学校や急遽休むことになった事務職員のいる学校に、兼務発令したベテランの事務職員が出向き、適切に支援する体制も整えた。</p>

令和4年度 課長方針 検証

部課	教育部 生涯学習スポーツ課	課長	加納 克彦
----	---------------	----	-------

課の運営方針
<p>○文化活動振興事業 ・豊かな人間性を養い、郷土文化の振興に寄与することを目的とする。</p> <p>○わらび学校土曜塾推進事業 ・行政・家庭・地域が連携・協力して、子どもたちを育む環境づくりを推進し、学習習慣の定着や基礎学力の向上に努める。</p> <p>○音楽によるまちづくり事業 ・音楽により、まちの賑わいを創出し、市内外にその魅力を積極的に発信することで蕨市のイメージアップを図る。</p> <p>○青少年健全育成の推進 ・行政・学校・家庭・地域社会が相互に連携し、青少年の健全育成の推進を図る。</p> <p>○スポーツ施設の適正管理・運営 ・市内スポーツ施設の安全で快適な利用を実現するため、計画的に施設管理、整備を進める。</p> <p>○スポーツ・レクリエーション推進事業 ・市民の健康増進、体力向上に寄与するスポーツ・レクリエーション活動の機会の充実を図る。 ・スポーツ(旧体育)協会やスポーツ推進委員等が連携し、子どもたちへの生涯スポーツ普及と啓発に努める。</p>

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度 主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
文化活動推進事業	1、公募美術展覧会 市民からの絵画・彫刻・工芸・写真・書道等の応募作品を審査し、入選作品の展示と優秀作品には褒賞を行う。 2、文化活動事業助成 各団体が実施する周年事業等に対し、活動事業資金を助成する。 3、文化ホールくるる等文化・芸術振興事業助成 文化ホールくるる等を会場として実施する事業等に対し、市が共催し、市民へ、より良質な公演を提供できるように事業費の一部を助成する。	3つの事業を柱に文化協会等と連携し、市内における新たな芸術家の発掘や市民の主体的な芸術活動を支援し、市民が文化・芸術に親しむ機会の充実・拡充を図る。	○	1. 公募美術展覧会 コロナ禍にあっても、感染防止対策など方法を工夫し、ほぼ従前の形式で開催した。 2. 文化活動事業助成 令和4年度は、8団体に対し活動事業資金を助成した。 3. 文化ホールくるる等文化・芸術振興事業助成 3つの事業に対し事業費の一部として助成した。

放課後子ども教室推進事業	小学生を対象に、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の協力の下、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を推進する。	スタッフの確保に留意しながら、子どもたちに、よりきめ細やかな対応が図れるよう、引き続き事業の展開やコロナ禍での運営方法の工夫を図る。	○	3校区で5月ころ、他校区も2学期には開催した。コロナ前の全校区が年度当初開始とはならなかったため◎とまではしなかった。
わらび学校土曜塾推進事業	小学3年生以上を対象として、子どもたちの自主的な学習(宿題・課題など)のサポートを通じて学ぶ楽しさを教え、学力向上や学習習慣の定着を図る。	スタッフの確保に留意しながら、子どもたちに、よりきめ細やかな対応が図れるよう、引き続き事業の展開やコロナ禍での運営方法の工夫を図る。	○	全校区で年度当初から開催した。コロナ対応として、一部で本来の学校内でなく最寄りの公民館を会場とした点と、コロナ前ほどには参加者数が戻りきっていない点で◎とまではしなかった。
音楽によるまちづくり事業	「学校への音楽家派遣」や情報紙の発行、「市民音楽祭」を、ブラッシュアップを重ね、実施する。また、その情報を市内外に発信する。	学校への音楽家派遣については、蕨市音楽家協会と連携して引き続き実施し、市民音楽祭については、本事業の主な柱として、まちの賑わいを創出できる事業となるよう取り組む。また、情報発信についても情報紙や市HP、SNS等の活用により、市内外に発信する。	○	音楽家の学校への派遣事業のほか、音楽祭は、コロナ禍に合わせた規模や運営方法・内容などを工夫してイベントを行った。コロナ前の状態ではないことから◎とまではしなかった。
少年センター事業	市長委嘱の補導員による街頭補導等を実施するとともに、啓発活動も実施する。	青少年の健全育成に寄与するため、「愛のひと声」運動を基本姿勢に、地域による青少年の見守り活動を行う。また、宿場まつりにおいて多くの方に活動を理解していただけるよう啓発活動を行う。	◎	ほぼコロナ前の形式での実施に戻った。
市内スポーツ施設の管理・整備	施設の安全で快適な利用を実現するための管理運営及び施設の改修を行う。	利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう指定管理者との連携強化を図り、サービス向上及び適切な施設改修を実施する。	○	必要に応じて修繕を実施した。施設の保全には終わりがなかったことから◎とはしなかった。
スポーツ・レクリエーション推進事業	スポーツ・レクリエーション団体及びスポーツ推進委員と連携し、既存事業のブラッシュアップや充実、参加者拡大を図る。また、ニュースポーツ等の普及や指導者育成に取り組む。	子どもから高齢者まで参加できる生涯スポーツ・レクリエーションを推進し、市民のニーズや関心抱くような事業に取り組む。また、スポーツ(R3年度に「体育協会」から改称)協会と連携し、スポーツ体験や指導者育成の機会を図る。	△	一部にコロナ禍による実施見送りはあったが、可能な催しは感染防止策を講じて実施した。スポ協各支部の球技大会や支部体育祭・ロードレース大会のような比較的規模の大きなものの開催が見送りとなったことから△とした。

令和4年度 課長方針 検証

部課	教育部 信濃わらび山荘	所長	加納 克彦
----	-------------	----	-------

課の運営方針
恵まれた自然環境の中で、集団宿泊による野外活動を通じて、青少年の健全な育成を図るとともに、市民の憩いの場を提供し心とからだの健康の増進を図る。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度 主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
信濃わらび山荘 利用者拡大事業	施設・設備の修繕ほか、山荘宿泊 ツアー等の実施。	市民の皆さんが快適に利用できる環境を整備し ていくほか、ツアー等の実施により、施設用してい ただく機会を提供する。	△	通常年と同様の約200日の開設を行った。一方、コロナ 禍により課や公民館が主催するツアー系の事業は行え なかった。同時に、団体利用も少なかったことなどから、 利用者は減となった。その他、修繕等は随時実施した。 ツアー開催の中止と利用者減で△とした。

令和4年度 課長方針 検証

部課	教育部 中央公民館	館長	鈴木 啓文
----	-----------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧で公正な対応、親切さ・身近さを感じてもらえるような公民館運営を行う。 ・市民の学習要求に応える学習機会を提供する。 ・施設等の管理を行い、安全できれいな施設運営を行う。 ・各公民館や他館を含めた職員間での連携や情報の共有に努める。 ・コロナ禍での施設や事業の運営をはじめ、団体との接点などの在り方・方向性について検討を重ねる。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
必要課題や地域課題に係る学習活動	家庭教育学級、高齢者学級、青少年健全育成事業など各世代の必要課題や要求課題を取り上げて事業を実施する。	市民や地域を取り巻く環境変化、学習ニーズに対応した多彩な学びの場の提供。 公民館活動にこれまで参加してこなかった人たちが参加のきっかけとなるような事業の展開。	◎	新型コロナウイルス感染拡大の状況等を見極めながら、可能な事業を実施した。例年に比べてやや実施回数の減はあったものの、各世代や地域の必要課題や要求課題に対応した事業を実施できた。
生涯学習の啓発及び成果発表	公民館で活動する団体の成果を発表する機会となる事業の開催。また奇数年度には「生涯学習活動推進事業」の実施。	学習者主体の生涯学習フェスティバルや春のコンサート、作品展示など、方法・形式等を利用団体等と検討して行う。	◎	学習者主体の実行委員会とともにコロナ禍の中でも安全に実施できる方法を工夫し、例年よりは規模や内容を縮小しながらも「生涯学習フェスティバル」や「わらび春のコンサート」を開催することができた。
学習情報の提供と相談体制の整備	生涯学習情報の情報提供を行う生涯学習コーナーの設置。学習相談の開設。	ホームページや公民館報の定期発行・更新 ・生涯学習コーナーの整備・充実。	◎	公民館報「ヒューマンシティわらび」の定期発行やホームページ更新などを随時実施した。
施設等の管理	施設の老朽化に伴う修繕を計画的に行う。経年劣化した設備の改修や整備を行う。	施設の現状を把握しながら、関係課等と連携を図り、計画的な施設改修を行う。	○	施設設備などの修繕・更新など、随時対応を行った。

令和4年度 課長方針 検証

部課	教育部 西公民館	館長	荒川 恵子
----	----------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・明るく、さわやかで親切、迅速な対応を心掛け、地域住民から親しまれる公民館運営を行う。 ・誰もが生涯にわたって学び続けることができる環境づくりに努めるとともに、地域性や世代のニーズを捉えた事業の実施。 ・学校、保育園、児童館や地域団体、企業、コミュニティ委員会等と連携した協働事業の推進。 ・新型コロナウイルス感染防止対策に十分留意した事業運営を行う。 ・安全できれいな施設の管理・運営を図る。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
家庭教育学級等子育て支援事業	「0・1・2ちゃんママおしゃべり広場」や「りんごちゃん学級」等の事業を充実して、子育て支援と家庭教育の向上を図る。	専門的な講師の派遣等による家庭教育力の向上と子育ての悩みや不安を解消し、親子のふれあいを深めるとともに、保護者同士の交流の場の提供、さらに自主的な活動を支援する。	◎	前期・後期で分けて募集することで、参加者の増員につながった。 多様な講座を開催することができ、参加者どうしの情報交換及び交流を図ることができた。
青少年健全育成事業	ジュニアリーダー会の育成、小学校3年生一泊キャンプなど、錦町地区青少年健全育成推進委員会と協働して地域ぐるみで青少年の健全育成を図る。	ジュニアリーダー会の自主的な活動を支援し、青少年の健全育成を図るとともに、社会活動の場の提供を促進する。	○	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小学校3年生一泊キャンプが3年連続中止となったため、代替事業として小学3～5年生対象のデイキャンプを行った。また、バスハイクも実施しジュニアリーダー会の活動を支援した。
高齢者学級	65歳以上の人を対象に、健康づくりや趣味・教養、暮らしに関すること等の学びの場を提供する。	講座を通じ、参加者同士の交流を深める場を提供し、健康づくり、生きがいづくりの支援をする。	◎	関係機関との連携を図りながら、参加者のニーズにあわせた講座を実施するとともに、参加者同士の交流を深める機会を提供した。

<p>市民協働事業の推進</p>	<p>わらびりんごの普及啓発事業、プレーパークなど市民主体の事業を推進し、町会や地域団体、地元企業などからも支援を受け地域一体となった事業に展開する。</p>	<p>地域各団体や企業等と連携協力のうえ事業を進め、地域力の向上を図る。</p>	<p>△</p>	<p>プレーパークの開催、生涯学習フェスティバルは規模を縮小して行うことができたが、他は新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止とした事業も多く、例年のように地域一体となる事業展開が行えないことが多かった。</p>
<p>施設整備事業</p>	<p>利用者にとって、安全かつ利便性の高い施設として環境を整備する。</p>	<p>施設の修繕及び備品の整備等、安全、安心で使いやすい施設運営を図る。</p>	<p>◎</p>	<p>新型コロナウイルス感染対策としてトイレ手洗い蛇口水栓自動化の他、集会室鏡の修繕を行った。また、ロビーを始めとする館内のLED化も徐々に進めている。備品についてはワイヤレスマイクロホン2本買い替えた。</p>

令和4年度 課長方針 検証

部課	教育部 南公民館	館長	萬年 祐次
----	----------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・教育振興基本計画・生涯学習推進計画・公民館重点施策及び事業計画等との整合性を図るとともに、地域や各世代のニーズに対応した事業を展開する。 ・職員も利用者も笑顔あふれる公民館を目指し、親切丁寧な対応を心掛ける。 ・施設の安全管理及び各部屋の整理整頓・清潔な環境づくりに注力する。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
家庭教育学級	乳幼児を持つ保護者を対象に、育児に関する学習や遊びなどを通して、親子のふれあいや参加者同士の交流を図る。	子どもの年齢ごとに、1年を通して子育てについての学習や親子のふれあいを深めるとともに育児経験者・保健師などによる相談やアドバイスの機会も設け、育児不安やストレスを解消し、保護者同士の気兼ねない交流の場を提供していく。	○	前年から新型コロナウイルス感染予防として導入した事前予約制や定員削減は、利用者に浸透している。リトミックである「にこにこONE TWO KIDS!」は人気があり2部制をとっている。
青少年健全育成事業	自然体験学習を1年を通して実施する他、学校休暇期間を中心に学習系・運動系の各種講座を展開していく。	さまざまな体験機会を提供することにより、子どもたちの自主性や創造性、協調性の育成を図る。	○	収穫した野菜のカレーや餅つきといった食事を伴うイベントは今年度も中止となったが、収穫体験は実施することができた。秋の動物園への体験学習バスツアーでも楽しみながら自然を学べ、大変好評であった。
高齢者学級	65歳以上の人を対象に、年間を通して参加者同士の交流を交えながら、趣味・教養などを学ぶ。	高齢者や定年を迎えた方々に、健康、教養、趣味等を学び、やりがい、生きがいのある生活を送るための交流の場を提供する。	△	高齢者が対象事業であることから、新型コロナウイルス感染予防のため9月から開催したため、回数は半分程度となった。
生涯学習の啓発及び成果発表	生涯学習フェスティバルや桜のまち南町文化展の開催。	公民館の活動団体を中心に日頃の成果発表や芸術に親しむ機会の提供を通じて生涯学習の推進を図る。	○	フェスティバルは1日での縮小開催となったが、コンサートも実施し、大変好評であった。文化展は昨年度、25回記念開催で実施した特別企画イベントを引き続き開催する。

防災関連事業	コミュニティ委員会や子ども会などと連携し、実践的な防災関連事業を実施する。	防災意識の高い南町の特徴を伸ばすため、地域と連携して子どもから高齢者まで各種事業を通して地域防災を高めていく。	△	南っ子防災キャンプは中止となったが、公民館利用者や学童児童向けの消防訓練を2回実施した。また、一中で行われた避難所運営訓練に職員が1名参加した。
施設整備事業	利用者にとって、安全で利便性の高い施設として環境を整備する。	施設・設備の老朽化に伴う各設備の修理及び備品の入れ替え等を適宜行う。	○	3階エレベーターホールとラウンジの故障している電球とトイレの照明をLEDに変更した。また、新型コロナウイルス感染予防として、手洗いの蛇口と男性小便器の水栓スイッチをセンサー式に入れ替えた。

令和4年度 課長方針 検証

部課	教育部 東公民館	館長	岡本 啓太郎
----	----------	----	--------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いの励行、手指の消毒、マスクの着用、定期的な換気等の新型コロナウイルス感染防止対策にしっかりと取り組む。 ・創意・笑顔・協働・効率に業務を遂行し、地域住民の親近感と信頼関係を育む公民館とする。 ・新型コロナウイルス感染防止対策に留意しながら、地域住民の学習要求に応える事業の質的充実を推進し、学習機会の拡充を図る。 ・住民をはじめ各種団体等が安全に活動でき、利便性の高い生涯学習施設として環境整備に取り組む。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
家庭教育・子育て学級	乳幼児から就学前の子どもとその親を対象に、子どもの年代とその親に応じた学習を展開するとともに、親同士の交流を育む。	子育てに関する不安や悩み、育児の楽しみを同世代で共有することで、仲間づくりや親子のふれあいを深め、母親たちの子育てをサポートする。さらに、自主子育て団体の育成に結び付ける。	◎	Mammaひろばや親子リトミック教室等、子どもの年代に合わせた事業や親に対しての「ノーパディズパーフェクトプログラム」を開催し、子育ての仲間づくりや親子のふれあいを図ることができた。
高齢者学級	65歳以上の高齢者を対象に「プラチナ学園」を開催し、生きがいづくり、仲間づくりを支援する。	生き生きと生活したいという目標のもと、自身の健康増進に努め、生きがいづくりや参加者同士の交流を深めることができる講座を開催する。	◎	コロナ禍ではあったが、高齢者に関心の高い健康づくりや双子織小物入れ作り等の講座のほか、手話体験教室、歴史民俗資料館特別展の出張見学等を開催し、仲間づくりや生きがいづくりを支援することができた。
塚越地区生涯学習フェスティバル	生涯学習連絡会がフェスティバルの実行委員として主体的に活動し、より良い生涯学習フェスティバルを開催する。	新型コロナウイルス感染防止に留意しながら、新しい形式での開催も検討する。様々な世代の地域住民や各利用団体が参加し、地域交流が活発となるような魅力あるフェスティバルとする。	○	新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、規模を縮小して3年振りに開催した。地域の方や公民館利用者等の学習成果発表会や作品展示等を実施し、地域活力の向上や生涯学習の推進を図ることができた。
施設等の管理	利用者にとって、安全で利便性の高い施設であるため環境を整備する。	施設・設備の老朽化に伴う各設備の修理及び備品の入れ替え等を計画的に行う。	○	今後も個別施設計画等を勘案しながら引き続き予算要求していく。

令和4年度 課長方針 検証

部課	教育部 下蔵公民館	課長	小川 有紀子
----	-----------	----	--------

課の運営方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりの輪が地域に広がるよう各種団体や地域の人材との連携に努める。 ・地域課題や地域住民のニーズに対応した事業の企画運営を図り、多様な学びの機会を提供する。 ・新型コロナウイルス等への感染防止対策を徹底して、講座運営・施設整備にあたる。 ・市の公共施設マネジメントに添った計画的な施設管理・運営を図る。 	

達成状況

◎…目標どおり、事業を進めている

○…目標をおおむね達成し、事業を進めている

△…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。

×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
音楽を地域に広める事業	音楽を地域に広める公民館という特色を生かし音楽を広める会との協働により、音楽で心の豊かさや潤いを提供する。	コンサート事業実施により、市民が気軽に良質な音楽に親しめる機会を提供し、音楽を広める会への支援を行う。童謡抒情歌などの伝統文化の継承や、誰もが気軽に参加できる環境づくりをとおして地域の芸術文化の向上に寄与する。	◎	「音楽を広める会」と共催でコンサートを3回開催。これまで新型コロナウイルス感染症予防対策として時間を短縮した2回公演で開催していたが、11月の「けやきコンサート」からは、従来通りの時間の1回公演で開催し、来場者にじっくり演奏を楽しんでもらうことができた。
地区生涯学習フェスティバル	利用団体が主体となり、自分達の学習成果の披露と公民館活動の広がりを進める。	利用者や地域住民の主体性を尊重し、地域活動の担い手の育成と公民館利用のきっかけにつなげていくとともに、コロナ禍に対応したイベント企画や新たな開催方法の研究を進める。	△	3年ぶりに開催することができたが、感染症予防対策として、展示のみの開催となった。公民館活動団体のほか、小学校PTAや保育園の協力のもと、講座室やロビーにたくさんの作品を展示することができた。
家庭教育学級	0歳児～3歳児を対象とした事業を開催し、乳幼児期の発達や保護者同士の交流を支援する。	参加者の自主的な活動を促し、公民館活動から学校、さらには地域活動への広がりを支援する。また保護者同士の交流をとおして子育ての孤立感及び負担感の解消につなげる。	◎	内容を見直し大幅にリニューアルを実施。0歳児サロンではベビーマッサージやリトミック等のミニ講座を取り入れたところ毎回申込者が定員を超える人気事業となり、親子のふれあいや、保護者同士の交流と情報交換の場としての役割を果たしている。
高齢者学級	高齢者の学習・健康長寿を目的とした事業。仲間作りの機会と生きがいづくりを支援する。	公民館利用者のニーズの把握に努め、関係機関との連携を図りながら、健康長寿をめざした講座や高齢者が抱える課題の解決に資する講座を企画する。	◎	今年度は「音楽と運動でハツラツお元気シニア」をテーマに、12回の講座を企画。健康アップ、創作活動など、高齢者のニーズを取り入れた講座を実施。毎年参加している人も多く利用者満足度の高い事業となっている。
施設管理	市の公共施設マネジメントの方向性に添って、安全安心で使いやすい施設として環境整備を図る。	利用者が安全で気持ちよく活動ができるよう計画的な修繕や備品の整備を図るとともに、館内環境の美化に努める。	○	1階講座室全面のLED照明への改修や複数破損が見られたドアクローザーの修繕を行ったほか、劣化したポータブルアンプの取替や正座が困難な方への対応として、和室用の椅子の購入等を行った。

令和4年度 課長方針 検証

部課	教育部 北町公民館	館長	桑島 勝彦
----	-----------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス等の感染症対策を取りつつ、安全な事業運営に努める。 ・スタッフ一同親切・丁寧な対応を心掛け、地域に親しまれる公民館づくりを目指す。 ・子どもから高齢者まで、各世代のニーズに合った事業を展開する。 ・地域の要望に耳を傾けながら、課題等の解決に向け常に最善の方法を考えながら積極的に取り組む。 ・誰もが気軽に利用できるよう、安全で明るくきれいな公民館としての環境整備に努める。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
家庭教育・子育て学級	体育館・児童館との複合施設である特性を活かし、連携を図りながら、市民の関心が高い「健康づくり」や「子育て支援」をはじめとした多様なプログラムを組み、質の高い公民館事業を提供する。	育児中の母親が安心して学習や情報交換をできる場を提供する。	◎	「ハロ北会」、「おしゃべりSALON」「NPプログラム」等、子育て中の母親を対象に、専門家による子育てについての悩み相談や育児に関する学習、親同士の情報交換の場の提供等を行った。
青少年事業		小学生を対象に、運動指導士やスポーツ指導者による専門的な体力向上プログラムを実施する。	◎	「きたまちキッズスポーツクラブ」「フットサル教室」では体育館やスポーツ指導者と連携し、専門的かつ多彩な体力向上プログラムを取り入れ、小学生に対し体力向上の機会を提供することができた。
シニア世代・一般対象事業		シニア世代・一般を対象に、健康づくりや教養に関する講座を実施する。	◎	「週末リラックスヨガ教室」を土曜日開催した。シニア世代・一般を対象とした学びの場を提供することができた。
高齢者対象事業		高齢者を対象に、健康づくりや趣味・教養など、多様なニーズに合わせた年間プログラムを実施する。	◎	「いきいき学級」を開催し、健康・音楽・工芸・介護予防等、高齢者の生きがいと健康づくりのきっかけとなるような様々なメニューの講座を実施した。

施設整備事業	施設の老朽箇所の修繕及び備品等の入れ替えを適宜実施する。	利用者にとって安全かつ利便性の高い施設となるよう、環境整備を図る。	◎	利用者の安全の確保及び利便性の向上のため、防火扉やダンパー等の消防設備や北プラザタイルの修繕等、緊急を要するものから順に修繕を行なった。
--------	------------------------------	-----------------------------------	---	--

令和4年度 課長方針 検証

部課	教育部 図書館	館長	佐藤 昌史
----	---------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・駅前図書館についての情報収集と必要な機能についての検討をおこなう。 ・資料の収集・整理・保存及び提供を充実し、生活に役立つ図書館を目指す。 ・イベントの実施やホームページを通して、図書館のサービスを周知し利用者の拡大に努める。 ・「第2次蕨市子ども読書活動推進計画」に基づき、関係機関と連携し取組を行うことで、子どもたちの読書の習慣化に努める。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
駅前図書館についての情報収集と必要な機能についての検討	蕨駅西口再開発による公共公益施設に、方針として図書館と行政センターが選ばれ、基本コンセプトが策定された。このコンセプトに従い、情報収集や必要な機能について検討を進める。	駅前の図書館となることから、利用者層や新たに必要な機能が変わるため、情報収集や必要な機能について、再開発の進捗に合わせて、関係各所と連携しながら検討を進める。	◎	新図書館の運営、及び併設される予定のカフェについて、他市で指定管理者としての実績のある業者からヒアリングを実施したほか、市内NPO法人からもカフェの運営について情報交換を行った。今後も引き続き関係各所と新図書館の機能について検討を重ねていくと同時に、他市の事例等の情報収集にも努めていく。
子ども読書活動の推進	「第2次蕨市子ども読書活動推進計画」に基づき、関係機関と連携しつつ、各取組を実施していく。	児童書を充実させ、関係機関と連携して子ども向け事業等を実施することで、子どもの読書が習慣化されるよう努める。	◎	「第2次蕨市子ども読書活動推進計画」の進捗状況調査を実施したほか、推奨図書リストを約3年ぶりに改訂し、市内小・中学校、保育園・幼稚園に活用いただいた。
利用者拡大に向けた取り組み	図書館サービス向上等により、利用者の拡大を図る。	図書館サービス向上等により、来館者数及び貸出件数の増加に向けて研究する。	◎	埼玉県立蕨高等学校生徒の図書委員おすすめ本コーナーの模様替えを実施したことに伴い、推薦文を記載したポップをリニューアルしたほか、もともと雑誌架に設置していた特設コーナーを館内入口付近に移設したことで、利用者の目に触れる機会の拡大を図った。
開館日数の増加等に向けた取り組み	全ての祝日開館を実施しつつ、日数の増加等について引き続き研究する。	開館日数の増加等について引き続き研究する。	○	新図書館移転時には開館日数の増加が見込まれるため、今後も引き続き研究していく。
施設的环境整備	安全で快適にご利用いただける施設として計画的に整備を行う。	適切に修繕等を行い、安全で快適にご利用いただける施設を維持する。	◎	適宜、必要な点検や修繕等を実施した。 (地下機械室配電盤改修、1階男子トイレ小便器排水修繕ほか)

令和4年度 課長方針 検証

部課	教育部 視聴覚ライブラリー	館長	佐藤 昌史
----	---------------	----	-------

課の運営方針
<p>・視聴覚ライブラリーの機材や、教育的な映像ソフトの利用について広く市民に周知し、有効活用を推進する。</p> <p>・「日曜子ども映画会」など、視聴覚教育に関わる各種事業を開催する。</p>

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
自主事業の開催	日曜子ども映画会等の開催	自主事業である「日曜子ども映画会」等の開催により、多くの方が楽しんだり、学んだりできる、魅力ある視聴覚資料が紹介できる機会を提供する。	◎	昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、映画会の開催回数を減らして開催したが、今年度は予定どおり開催でき、毎回盛況であった。今後も、館内上映が可能で魅力あるDVDを購入していき、映画会を充実させていきたい。
視聴覚資料の充実	DVD及びCDを中心とした教育的かつ質の高い視聴覚資料を充実させる。	多くの方に役立つ、魅力ある視聴覚資料を収集するとともに提供していく。	◎	ビデオテープは劣化等の理由からほぼ全てを除籍し、DVD化している資料を購入した。また、カセットテープは、利用実績の乏しい資料やCD化している資料について除籍し、デジタル媒体への移行を図った。

令和4年度 課長方針 検証

部課	教育部 歴史民俗資料館	館長	佐藤 直哉
----	-------------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・蕨市の歴史・文化に関する資料の収集・調査・研究を実施し、周知・活用に努める。 ・調査・研究を行った資料の内、特に貴重と考えられる資料については文化財として指定し、保存・活用を図る。 ・特色ある展覧会や体験講座等を企画・開催することにより、幅広い年齢層の市民の方の来館を促し、蕨市の歴史・文化に触れる機会の充実を図る。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
文化財の保存と活用	蕨市の歴史・文化に関する資料の収集・調査・研究を実施し、特に貴重と考えられる資料については、文化財として指定する。	蕨市の歴史・文化に関する資料の収集・調査・研究を実施し、特に貴重と考えられる資料については、文化財として指定する。また、研究成果については、「研究紀要」等で紹介し、周知・活用に努める。	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・「元禄十年銘銅板向い狐絵馬」を文化財として指定。 ・「資料館研究紀要」第20号を発刊。
特別展事業	様々な分野で活躍する、蕨市及び近隣市にゆかりのある芸術家の作品を紹介する特別展や、小学校児童を対象とした体験講座等を開催する。	特色ある展覧会や体験講座等を企画・開催することにより、幅広い年齢層の市民の方の来館を促し、蕨市の歴史・文化に触れる機会の充実を図る。	◎	小学校児童対象の体験講座を計13講座開催した他、令和5年2月25日より4月30日まで第42回特別展を開催。
平和事業	蕨市が甚大な空襲被害を被った経緯をふまえ、開館以来の継続事業として「平和祈念展」を開催する。	「戦争」という事実・記憶を風化させることなく、次世代に戦争の悲劇と平和の尊さを伝えていく。	◎	令和4年7月9日から9月19日まで第33回平和祈念展を開催。総入場者数：延べ5,802人。

令和4年度 課長方針 検証

部課	教育部 学校給食センター	所長	石丸 岳広
----	--------------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・栄養バランスのとれた豊かな学校給食を提供する。 ・衛生管理の徹底した調理環境のもと、安全な食材を使用し、学校給食に対する安心を確保する。 ・献立内容の充実を図るとともに、学校給食を生きた教材として活用した食育を推進する。 ・計画的に調理施設・設備の整備を進める。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
施設・設備の管理・整備	定期的な保守点検や修繕等により調理機器類の機能を維持するとともに、施設・設備の老朽化を踏まえた計画的な整備を行う。	安全・衛生的な調理施設で、学校給食を安定的に提供する。令和4年度は、調理室と洗浄室の換気設備の更新工事を行う。	◎	予算の範囲内で、緊急性や給食提供に対する影響度等の優先順位を考慮した施設・設備の整備・修繕が概ねできた。
安全衛生管理体制の整備	学校給食衛生管理基準に示された施設及び調理業務等の運用方法を遵守する。	衛生管理体制の改善や更なる向上に取り組み、衛生管理の徹底を図る。	○	異物混入対策や衛生管理基準に基づいた衛生管理の徹底が図られている。
食物アレルギー対応	食物アレルギーの原因食品を示した献立表を家庭に配布するなどの食物アレルギー対応を実施する。	学校と連携し、食物アレルギーを有する児童・生徒に対して、安全に給食を摂取できるよう情報提供していく。	◎	新規にアレルギー対応を行う児童生徒については、保護者・学校・給食センターの3者で面談を行いアレルギーの確認や緊急時の対応など話し合いを行っている。対象となる児童生徒には詳細な献立表を作成し対応しており、対象人数は小学生77名・中学生17名。(いずれも最大人数時)

食育の推進	<p>栄養教諭等が学校と連携し、食育授業を行う。また、献立募集「学校給食のメニュー作りにチャレンジ！」を実施する。</p>	<p>児童・生徒が食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活が実践できるよう、食に関する指導の充実に努める。</p>	◎	<p>各校と日程調整を行い対象学年ごとの食に関する指導を行っている。</p>
	<p>地場産物を活用した給食を提供する。また、地元農家の方から地産地消について学ぶ「ふれあい交流給食」を開催する。</p>	<p>地産地消を推進するとともに、地元の食材に対する理解を深め、食べ物や生産者に感謝する気持ちを育てる。</p>	○	<p>地場農産物はわらび農産物直売所のご協力で多くの野菜を使用することができた。令和4年度に使用した地場産野菜の総量は2229.5kgである。 また、交流給食は、中央小学校にてWeb会議システム「Zoom」を使用し「ふれあい交流」として実施することができた。</p>